

【年月日】
提出日を記入してください。
令和〇年〇月〇日

車両・船舶・航空機り災申告(調査)書

り災物件と申告者の関係 或消防本部
様
【所有者】車検証等に記載されている所有者
【管理者】車両等の整備・管理している者
【占有者】実際に車両を使用していたもの
【その他】上記以外の者

り災したので申告します。
申告者 住所 渋川市渋川〇〇番地
職業(職) 会社員 氏名 〇〇 〇〇

り災年月日 令和〇年〇月〇日 り災場所 渋川市渋川〇〇番地

② り災物件と申告者の関係 所有者・管理者・占有者・その他()

③ 運転者(機長) 住所・職・氏名 渋川市渋川〇〇番地 会社員 〇〇 〇〇 平成〇年〇月〇日生(当〇〇歳)

④ り災車両等 自家・営業別 自家用・営業用 年式(機種等) R〇年 登録番号(機名等) 群馬 330 さ 〇〇-〇〇
用途別 普通乗用 購入年月 R〇・〇 購入金額 〇〇円 経過年数 〇年

⑤ り災程度(焼けた箇所等) (例)全損・(エンジンルーム等) 損害見積額 円 ※調査損害額 千円

⑥ り災積載物等 品名 数量 購入年月 り災別 購入時価格 損害見積額 ※調査損害額
(例)バック 1 R〇・〇 焼・消・他 〇〇円
焼・消・他
焼・消・他
小計 円

【損害見積額】
不明な場合は記入不要

⑦ 火災保険 契約先 〇〇 保険会社 契約金額 〇〇円 ※調査損害額 合計 円
【※の欄は記入不要】

記載要領
※の欄は、記入しないでください。
選択箇所は、該当するものに○で囲んでください。
④の欄 用途別の欄は、貨物、タクシー、乗合バス、電車等などの用途を記入してください。
⑤⑥の欄 損害見積額の欄は、り災した物件等の時価を基準として、被害程度により損害額を見積もって記入してください。
⑥の欄 り災別の欄は、焼・消・他の意味は、次のとおりです。
焼 …… 火災によって焼けた物及び熱によって炭化、熔融、破損した物品。
消 …… 消火作業により水損、破損、汚損したもの。
他 …… 爆発によって壊れたもの。

※本調査担当者 所属 氏名

- 備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、概ね5日以内に提出してください。
- 3 この申告書は、り災した物件(所有者等)ごとに提出してください。